

氏名	三輪 憲永 / MIWA Norinaga
所属・職名	松本看護大学 看護学部 教授
連絡先	
担当科目	生物学、環境学、教養ゼミナール、公衆衛生学、社会保障制度、連携ゼミナールⅠ、研究方法論、疫学、衛生関係法規、保健医療福祉行政論、連携ゼミナールⅡ
学歴	北海道大学大学院修士課程 修了
学位	博士（獣医学）
主な経歴	1977年4月～2007年3月 静岡県 2007年4月～2021年3月 東海大学短期大学部 2021年4月～ 松本看護大学
研究分野	社会医学
所属学会	日本公衆衛生学会、日本食品衛生学会、日本食品微生物学会、日本獣医学会
主な研究業績	
著書	1 食品微生物学辞典,共著,2010,中央法規株式会社
学術論文	1 Levels of <i>Vibrio parahaemolyticus</i> and thermostable direct hemolysin gene-positive organisms in retail seafood determined by the most probable number-polymerase chain reaction (MPN-PCR) method. (最確数法とPCRを組合わせた方法により測定した市販魚介類中の腸炎ビブリオおよび耐熱性溶血毒産生菌のレベル). 共著,平成18,Journal of Food Hygienics Society of Japan 47(2),P41-45 2 食品から赤痢菌を分離するためのエンテロヘモリジン (E-Hly) 培地の有効性の検討,共著,平成21,日本食品微生物学会雑誌 26(3),P183-186 3 静岡県における腸炎ビブリオ食中毒,共著,平成24,東海大学短期大学部生活科学研究所所報 25,P33-37 4 Antibiotic resistance in bacterial pathogens from retail raw meats and food-producing animals in Japan. (日本の市販食肉および食用動物から分離された病原細菌の抗生物質耐性).共著,平成24,Journal of Food Protection 75(10),P1774-1782 5 Decontamination of <i>Vibrio parahaemolyticus</i> in Fish by Washing with Hygienic Seawater and Impacts of the High Level Contamination in the Gills and Viscera (腸炎ビブリオに汚染された魚の消毒した海水による洗浄効果とエラおよび内臓の高濃度汚染).共著,平成25,Journal of Veterinary Medical Science 75(5),P589-596 6 Survival of <i>Salmonella Enteritidis</i> on Four Types of Stainless Steel Surface under Dry Condition and Recovery by Swabbing 4種類のステンレス表面に添加したサルモネラエンテリティディスの乾燥条件での生残性およびフキトリによる菌の回収,共著,平成25,Food Hygiene and Safety Science 54(3),P219-223 7 静岡県の食中毒発生状況(1986年～2015年).共著,平成29,東海大学短期大学紀要 50,P65-70 8 カンピロバクターによる食中毒,単著,令和3,東海大学短期大学紀要 54,P59-63 9 ステンレス表面に滴下した卵黄液中の <i>Salmonella Enteritidis</i> の乾燥条件における生残状況,単著,令和3,東海大学短期大学部生活科学研究所所報 33,P57-60 10 社会教育講座「フードサイエンス～食の扉～」の記録 閉学に寄せての講座の足跡,共著,令和3,東海大学短期大学部生活科学研究所所報33,P65-74